

超高層の死角 (1989)

TRAPPED

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 アメリカ

時間 92分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

科学工業のハイテクビルから出られなくなるマリアン（クインラン）とレニー。いつもの故障だろうと警備員室を訪れると無人。電話も不通、監視カメラも切られている。外部から完全に孤立したとき謎の殺人鬼がレニーを殺し、何とか逃げたマリアン一人きりになってしまう。恐怖に脅えながらビル内を歩く彼女の背後に、見知らぬ男ジョン（アボット）が……。 「ダイ・ハード」の犯人を「13日の金曜日」のジェイソンに置き換えたサスペンスを狙ったのだろうが（そうなってれば、どんなに良かっただろう！）、見せ方がなっていない。犯人の素姓はまだしも、いい意味でのルーティンをまるで踏んでないうえ、これは伏線かなと思いきや本筋と全く関係無し（かたや、張ったつもりだろう伏線は生かされてるわけじゃない）、といった具合に演出・脚本ともに駄目。話はジョン抜きで作ったほうが盛り上がった筈（アボット自体が悪いのではない）。

【クレジット】

| | | |
|-------|----------------|-------------------|
| 監督 | フレッド・ウォルトン | Fred Walton |
| 製作 | ロバート・T・スコーディス | Robert T. Skodis |
| | ジョセフ・ベロッチィ | Joseph Bellotti |
| 製作総指揮 | ジョン・エプスタイン | John Epstein |
| 脚本 | フレッド・ウォルトン | Fred Walton |
| | スティーヴ・フェケ | Steve Feke |
| 撮影 | ジョージ・コブラサ | Geroge Koblasa |
| 編集 | デヴィッド・バイロン・ロイド | David Byron Lloyd |
| 音楽 | スティーヴン・コーン | Stephen Cohn |
| 出演 | キャスリーン・クインラン | Kathleen Quinlan |
| | ブルース・アボット | Bruce Abbott |
| | ベン・ロギンス | Ben Loggins |
| | カティ・ボイヤー | Katy Boyer |
| | タイリース・アレン | Tyrees Allen |
| | ジュリアス・テノン | Julius Tennon |